

令和4年度 砂防ICT意見交換会を開催

～建設現場で生産性向上や魅力ある建設環境のためにICTを推進～

砂防分野の建設ICTを推進するために、工事、業務の受注者の皆様と事務所職員がWEB方式で意見交換を行いました。

開催概要

日時：令和4年8月23日（火）13:30～15:30

方法：WEB方式（現場から参加者へICT施工状況の中継も実施）

現場：令和3年度ガラン谷第1砂防堰堤工事/本巢市根尾大井地先

参加者：26名（工事受注者7社14名、業務受注者3社3名、越美山系砂防事務所9名）

内容

I MC建設機械を使用した現場からの報告

（田中建設工業 山口タケル様）

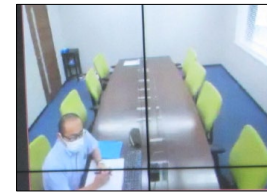
- ・掘削断面間際まではMG、掘削断面線ではMCでそれぞれ使い分けて掘削作業をした。
- ・砂防堰堤特有の複雑な形状の掘削にもMC施工であれば可能である。



MC掘削状況



現場中継の状況



意見交換の様子

II 意見交換

① MC導入にあたっての課題等について

- ・GNSS（衛星）だけではなくTSを活用してICT建機が座標を把握できることが分かった。
- ・ブレイカーのICT建機が市場に無いため、岩掘削は適用できないのが現状。
- ・岩が含まれる掘削面の出来形管理には規格値を予め協議しておく必要がある。

② BIM/CIMの推進に向けたそれぞれの立場からの意見

- ・工事受注者：小規模構造物の設計も3次元モデルで作成されるのか。
- ・事務所職員：3次元モデルの設計は、業務の受発注者間で協議して決定している。施工に反映できるようなデータについても検討していく。
- ・業務受注者：3次元モデルの成果に詳細な土質データを加えてはどうか。施工にも有用ではないか。
- ・事務所職員：必要性については個別に検討していきたい。